新発田市妊産婦医療費助成制度

新発田市では、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの一環として、 妊産婦の医療費について、次のとおり助成しています。



対象者

新発田市に住民登録があり、健康保険に加入している妊産婦

※ ひとり親家庭等医療費助成(県親)、重度心身障害者医療費助成(県障)または生活保護を受給 している方はそちらの制度が優先され、対象外となります。

助成期間

【始期】妊娠届出(母子健康手帳の交付を受けた日)の翌月から

(母子健康手帳をお持ちで転入してきた方は、転入日から)

【終期】出産日の翌月末日まで(転出する方は、転出日の前日まで)

※ 出産が早まった場合(流産・死産)は、助成期間が変更となる場合があります。

助成内容

保険診療にかかる自己負担額(3割)のうち、<u>次の一部負担金を控除した残りの額</u> を助成します。

● 通 院:1回 530円(満たない場合はその額)

※ 同じ医療機関おいて月4回まで負担。5回目以降は無料

● 入 院:1日 1,200円(食事代は対象外)

● 薬 局:無料

● 訪問看護:1日 250円

受診の方法







受診毎に

必ず窓口で**「受給者証」**を提示してください。

健康保険証と**「妊産婦医療費受給者証」**を提示すると、助成が受けられ、窓口での支払いが

一部負担金のみとなります。

県内の医療機関を受診するときに、

こんなときは必ず届け出をしてください!

- ・加入健康保険、住所等、受給者証に記載のある事項に変更があったとき
- ・他の市町村へ引っ越しされるとき

・出産(流産・死産を含む)したとき

・ひとり親家庭等医療費助成(県親)、重度心身障害者医療費助成(県障) または生活保護を受けることになったとき

【持ってくるもの】

申請者の本人確認書類 (運転免許証など)、 受給者証、保険証

> 新発田市から引っ越したら 「受給者証」は返してね

新発田市子育で応援キャラクター





きらちゃん

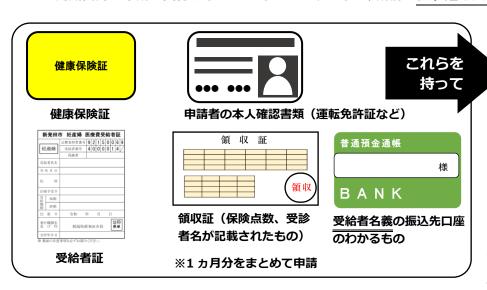
こんなときは還付申請が必要です!

県外の医療機関を受診したときや受給者証を忘れたとき

一旦、健康保険証の負担どおり3割負担分をお支払いただき、後日、以下のとおり 還付申請をすることで一部負担金との差額の払い戻しを受けることができます。

申請の受付期間: 受診日の翌月から 6 か月以内

※上記期間外の申請は受付することができませんので、申請前に領収証の受診日を確認してください。



受付窓口

- ●こども家庭センター (豊浦地区公民館内)または
- ●こども課こども家庭センターサテライト (市役所本庁舎2階)
- (注)入院等で保険適用分の自己負担額が 高額となった際は、左記に加えて、認印、 別途書類が必要となる場合があります。

健康保険証を持たずに受診した場合や治療用装具(コルセット等)を作製した場合などで、健康保険から払い戻しを受けたときは医療費助成も受けられますので、上記持ち物に加え「健康保険からの支給決定通知書」、「医師の証明書」を持って申請してください。

お願い!

● 窓口での支払いが軽減される「限度額適用認定証」がご加入の健康保険組合等から交付される場合があります。詳しくはご加入の健康保険組合等にお問い合わせください。

こんなときは

「受給者証」を確認

してください!

- 出産日(流産・死産含む)が予定日より月をまたいで早まった場合、 助成対象期間も短くなりますので受給者証の届出が必要です。
- 転出などで資格がなくなったときは、速やかに受給者証をお返しくだ さい。
- ※ 資格がないまま受給者証を使用した場合、 「助成額を返還」していただきますので、ご注意ください。



お問い合わせ ・ご相談は…

こども家庭センター 健やか育児支援係(妊産婦医療費助成担当) TEL (0254) 28-0415 (直通)